

参議院福島県選出議員 補欠選挙結果 投票率 59・77%

参議院福島県選出議員補欠選挙の投票が4月22日に行われました。

その結果については次のとおりです。

投票率は、59・77%と低い結果になりました。

また、年代別投票率では、60歳代の78・95%が最も高く、20歳代の35・11%が最も低い結果となりました。

期日前投票では、投票者総数の20・28%（1,194名）の方が期日前投票所で投票さ

れました。

今回の選挙は、18投票所を8投票所に統合して初めての投票となりましたが、皆様のご理解によりスムーズに投票ができましたことにお礼申し上げます。

併せて、選挙事務並びに棄権防止のため啓発等にご協力をいただきました関係者皆様に対し、厚くお礼申し上げます。なお、選挙の結果等については、次のとおりです。

参議院福島県選出議員補欠選挙 投票結果及び開票結果

○投票結果

区分	選挙当日の有権者数	投票者数	投票率
男	4,768人	2,851人	59.79%
女	5,081人	3,036人	59.75%
計	9,849人	5,887人	59.77%

○候補者及び候補者別得票数

候補者	得票数
ましこ輝彦	3,659票
山口勇	1,855票
宮本しずえ	299票

※無効投票 74票

「小野町・風景の心得」を提案しました ～うつくしいまちなみ景観形成支援事業～

平成17年度から2年間、住民のみなさんと一緒に、小野町らしいまちなみを考えるワークショップを開催し、このほど、これまでの活動やワークショップの成果をとりまとめた「小野町・風景の心得」を提案いたしました。

平成18年度は、先例地の視察を含む3回のワークショップを行い、「小野町らしさ」とは何か、

「小野町の景観マップ」を作成し、理想のまちなみについて検討しました。

今後は、「小野町・風景の心得」を基に各地区のまちづくり委員会で具体的な内容を検討し、景観に関する活動を実施する計画です。みなさんの参加をお願いいたします。

「小野町・風景の心得」

- 「小野町らしさ」は、地形や気候などの自然環境と人々の生活（歴史・文化・祭り・気質など）から創られる
- その場所に住んでいる人の生き方が、その場所の「風景」となる
- 「公と私の境界」を活かすことにより、小野町らしい「まちなみ」が整えられる



熱心に取り組む参加者のみなさん



ワークショップのようす